

地域の中小企業の社会事業化を支援する若手支援者の育成事業  
「地域の中小企業の社会事業化を支援する助成等を行う組織の設立支援事業」  
内定団体一覧

一般社団法人 全国コミュニティ財団協会  
2021年6月16日

一般社団法人 全国コミュニティ財団協会が実施する、休眠預金等活用に基づく「地域の中小企業の社会事業化を支援する若手支援者の育成事業」の内定団体の名称、申請事業の名称及び概要、選定過程、選定理由、助成総額とその算定根拠を公募要領 p.19「13.審査結果の通知と公開」に基づき、公開いたします。

【選定過程】

公募期間：2021年1月15日～2月15日正午  
公募説明会：2021年1月21日、1月28日  
申請団体ヒアリング：2021年2月17日～2月19日  
審査会：2021年3月7日  
内定団体の決定：2021年3月8日  
内定団体への審査結果通知：2021年3月12日

※助成金内訳は、実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております。

【内定団体】

(全3団体・順不同)

団体名	事業実施地域	申請事業名
一般社団法人リズカーレ	愛媛県西条市	社会事業化支援特化型のコミュニティ財団設立に向けて
公益財団法人あくるめ	石川県加賀市	石川県加賀市市民自治化における基盤強化事業
特定非営利活動法人 まちづくりスポット	岐阜県高山市、飛騨市、 下呂市、白川村	飛騨コミュニティ財団（仮称）設立事業

団体名	事業実施地域	申請事業名	
一般社団法人リズカーレ	愛媛県西条市	社会事業化支援特化型のコミュニティ財団設立に向けて	
助成額	総事業費	管理的経費	直接事業費
¥22,000,000	¥39,364,600	¥3,280,800	¥36,083,800
申請事業概要	社会事業化支援特化型のコミュニティ財団を設立して、資金仲介や経営支援を通じて、市内の多くのNPOや市民活動団体が社会的インパクト評価を元にした事業を展開し、地域課題を解決していく様子が可視化されていくように働きかける。		
採択のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 短期間で行政と協働して西条市におけるローカルベンチャー育成の一翼を担い、起業支援をはじめとした支援の実績を作り、チャレンジする人のための生態系を生み出しつつある点が高く評価されました。</li> <li>● 本助成を受けて、コミュニティ財団化を目指すに当たっては、“私たちの地域の財団”という意識を地域に育てていくためにも、設立のプロセスにおいて運動性や共感をつないでいくことが欠かせず、現状の計画ではその点をさらに深めていく必要性について指摘がありました。初年度は、ローカルファンド研究会をはじめとしたステークホルダーとの丁寧な対話を積み重ねて、多様なセクター、立場の方々が融合したチームづくりに時間を割くなど計画変更について検討してください。</li> <li>● そのプロセスにおいては、地域の課題をきちんと調査して提示すること、ポジティブな未来像をともに考えていくこと、そのどちらかだけに偏ったものではなく関係者の皆様と共有することへの期待感が指摘されています。西条市の状況にあった財団設立・運営のあり方を模索していくことを期待しています。</li> </ul>		

団体名	事業実施地域	申請事業名	
公益財団法人あくるめ	石川県加賀市	石川県加賀市市民自治化における基盤強化事業	
助成額	総事業費	管理的経費	直接事業費
¥22,000,000	¥28,050,100	¥3,503,900	¥24,546,200
申請事業概要	<p>社会事業化支援特化型のコミュニティ財団を設立して、資金仲介や経営支援を通じて、「地域の課題を地域で解決し、地域がよりよくなる実感がある」という状態を実現するために、資金仲介事業を通して①社会事業を担う団体を増やす、②適切な社会事業案件を形成する、③社会事業を担う団体の基盤強化を行う、④団体同士が協働できるようマッチング/コーディネート、以上の取り組みをこの事業で実現します。</p>		
採択のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 加賀市内で子ども・若者を中心とした活動への支援活動を基礎に、地域の課題解決を図る他のテーマの組織も含む支援体制づくりとして、次のステップを目指す取り組みとして高く評価されました。</li> <li>● 白書や地域円卓会議などの他地域で行われている取組みを何のために行うのか、どう生かしていくのか、ただ移転をしてくるだけでなく「加賀モデル」となる形に発展させることが望ましいと指摘がありました。そのためにも、一つ一つの取組みを他の取組みとどのように連動させ、相乗効果を狙うのか等もあわせて検討を期待します。</li> <li>● 個人が設立した財団からコミュニティのための財団として進化していく中で、現在、注力している若者支援を軸としながら、地域また地域の多様なステークホルダーとの関わりを強め、かつエンパワーメントしていく存在となっていくように事業を展開することを期待しています。</li> </ul>		

団体名	事業実施地域	申請事業名	
特定非営利活動法人 まちづくりスポット	岐阜県高山市、飛騨市、下呂市、白川村	飛騨コミュニティ財団（仮称）設立事業	
助成額	総事業費	管理的経費	直接事業費
¥22,000,000	¥27,500,000	¥3,300,000	¥24,200,000
申請事業概要	<p>当法人が実施してきた行政と連携した地域全体への支援サービスの経験をきっかけに、新たな社会的事業の創出をゼロからスタートしていく。その為に、地域の未来にどんな事業が足りないかを把握し、その解決策として住民、企業、行政等に向けたコミュニティ財団立ち上げの理解促進を行っていく。また、地域金融機関等の有識者と連携し、投資決定のプロセスをチェックする評議委員会(仮称)の設置準備を行う。そして、飛騨地域の地域資源を活かした新たな投資・寄付方法を創出する為、飛騨地域金融機関と連携し、電子地域通貨等を活用し、多くの人に関われる寄付文化の醸成を目指す。</p>		
採択のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまでの資金仲介の実績もあり、飛騨地域内においてまちづくりの中間支援組織として成果を生み出してきた組織が、従来から抱えていたプレイヤーの不在などの課題に真摯に向き合い、「コミュニティ財団の設立」という軸からその状況に対処するための新たな挑戦として高く評価されました。</li> <li>● 現時点では将来ビジョンの具体性をさらに高めていく余地があるため、早い段階で地域課題を丁寧に調査することに加えて、他地域の取り組みを学んでいくことが望ましいと指摘がありました。そのうえで、飛騨地域においてなぜコミュニティ財団が必要であり、解決策に成りうるのか、その意義を組織内外の人たちと合意形成を図ることを期待されています。</li> <li>● 将来的に独立した財団を設立するにあたっては、どのような役員構成で担っていくのか、地域の重要なステークホルダーにきちんと関わりを持ってもらえるように、運動性や共感をつなぐような事業を展開していく点についても指摘がありました。</li> </ul>		